

地域の小さな声を聴く力。公明党

令和2年第2回定例会での公明党代表質問

行政手続のデジタル化の推進について

非常時の業務継続性を高めるため、テレワークを推進する働き方改革が必要だ。行政文書をデジタル化し、区内で共有する仕組みの構築など業務効率化を一層図れ。

【答弁】デジタル化を推進し、世田谷区役所版働き方改革に取り組む。

マイナポータルの利用促進策について

特別定額給付金をオンライン申請するにはマイナポータルの利用が必須となる。パソコンなどを持たない区民が取り残されないよう、サポート窓口を整備せよ。

【答弁】支所のくみん窓口での支援も視野に方策を検討する。

コロナ禍での避難所運営の課題について

コロナ禍での避難所運営では、3密を避けるための避難場所の増設や感染症対策用物品の備蓄、職員の配置など課題は多い。一刻も早く対策を講じて区民周知せよ。

【答弁】衛生用物品の配備や予備避難所の確保に取り組む。

介護事業者への区独自の支援について

介護施設での集団感染を恐れ、利用を控える高齢者の健康状態の低下が懸念される。今後ますます重要な役割を担う介護職を支援するため、支援金を創設せよ。

【答弁】国や都の動向を注視し、補正予算などの対応を検討する。

コロナ禍での失業者の雇用促進について

新型コロナにより雇用者数は年末までに約300万人減少する見込みだ。給付金事業などの増加する行政事務に対しては、失業者を積極的に採用して雇用を創出せよ。

【答弁】事務量が増加している所管と協議し雇用計画を検討する。

妊娠婦への相談体制の拡充について

コロナ禍においては、感染を恐れて一層孤立しやすくなる妊娠婦の不安解消に力を注ぐべきだ。産後ケアセンターでの相談事業ではオンライン相談にも取り組め。

【答弁】委託先の助産師会と協力の上、実施に向け取り組む。

オンライン授業への教育長の認識について

区は2年度中に区立校用タブレットを約4万3000台整備予定だ。双方向通信での学習やオンライン授業に対する教育長の認識を示せ。

【答弁】双方向につながり学び合う新たな教育の転換へつなげる。

区立図書館運営の抜本的な見直しについて

他自治体の電子図書館はコロナ禍でも電子書籍の貸出し機能を維持した。感染防止に加え、運営費削減の観点からも電子図書館を導入するなど運営体制を見直せ。

【答弁】財政的な見直しの観点から図書館運営体制の検討を進める。

あなたのために！ 働きます！



コロナ禍のアーティスト支援について

コロナ禍の文化芸術活動の自粛によりアーティストなどは苦境に直面している。文化振興基金の活用や休館中の区施設の提供などアーティストの活動を支援せよ。

【答弁】関係団体と連携し文化芸術活動の早期再興に向け取り組む。